テーブルマイク

取扱説明書

スターキージャパン株式会社
〒222-0033　神奈川県横浜市港北区新横浜2-6-23 3F
Tel.045-475-9701　Fax.045-475-9706
www.starkeyjp.com

© 2023 Starkey Japan. All Rights Reserved. BKLT0090-02-JJ-JP JPYBK-090
2023年4月作成

目 次

はじめに …… 2
各部の名称と機能 …… 4
表示ランプについて …… 8
使用方法 …… 12
補聴器とのペアリング …… 13
日常使用 …… 16
ストリーミングの開始／停止 …… 20
ネックストラップの使用 …… 21
モニター用イヤホン …… 22
トラブルシューティング …… 23
安全性情報 …… 25
認証情報 …… 28

はじめに

テーブルマイクは、一つの製品に補聴援助機器、TVストリーマー機能を兼ね備え、2.4GHz帯ワイヤレス補聴器に音声を直接ストリーミングします。

主な使用方法：

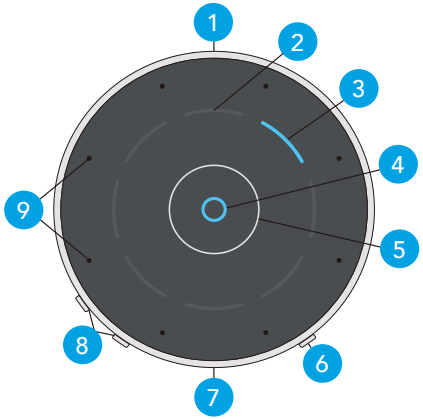
- テーブルマイク：グループでの会話で卓上に置き、特定の話者の声を拾って補聴器にストリーミングします。以下の動作モードから選んで使用します。
  - オート（追従）モード
  - マニュアル（固定）モード
    - 1名の話者にフォーカス
    - 2名の話者にフォーカス
  - サラウンドモード（無指向性モード）
- TVストリーマー: マイクロUSBケーブルで接続してライン入力した音声をストリーミングします。

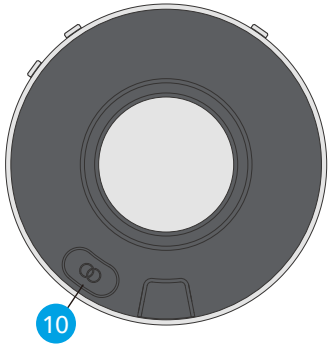
ストリーミングとは？：
音声または音楽などのサウンドが本製品から補聴器へ無線（ワイヤレス）技術を利用して直接的に伝送されることです。

パッケージ内容

- テーブルマイク
- ACアダプター
- マイクロUSBケーブル
- ポーチ
- モニター用イヤホン
- TVストリーミング用ケーブル
- 磁石付きネックストラップ
- シリコーン・ケース
- 取扱説明書

各部の名称と機能





1. マイクロUSBジャック
2. 方向選択タッチキー
3. 表示ランプ
4. オートモード表示ランプ
5. モード切替ボタン
6. 電源ボタン
7. 3.5mm 音声出力ジャック
8. 音量 ＋/－ ボタン
9. マイクロホン
10. 補聴器ペアリングボタン

1. **マイクロUSBジャック**
   - マイクロUSBケーブルで本製品を充電します。
   - TVストリーミング用ケーブルで音声を入力します。

2. **方向選択タッチキー**
   - 1名の話者または2名の話者の声を集中して拾うように、手動でマイクを向ける方向を選択します。

3. **表示ランプ**
   - 選択した話者の方向を示します。
   - 動作状態が確認できます
     - 充電状態
     - 電源
     - バッテリー状態
     - ペアリング状態
     - 音量
     - ライン入力/出力接続状態

4. **オートモード表示ランプ**
   - オンはオートモードを意味します。
   - オフはサラウンドまたはマニュアルモードを意味します。

5. **モード切替ボタン**
   - オートモードとサラウンドモードを切り替えます。

6. **電源ボタン**
   - 電源を入/切 します。

7. **3.5mm音声出力ジャック**
   - モニター用イヤホンを接続します。

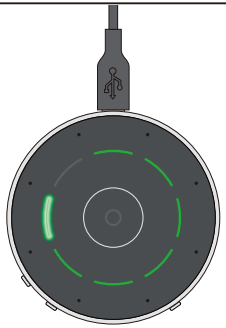
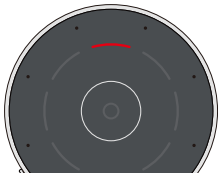
8. **音量 +/– ボタン**
   - ストリーミングの音量を調整します。

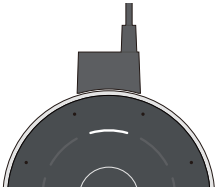
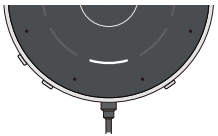
9. **マイクロホン**
   - 話者の声を拾います。

10. **ペアリングボタン**
    - ペアリングして補聴器に無線（ワイヤレス）接続します。

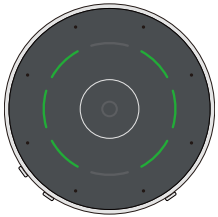
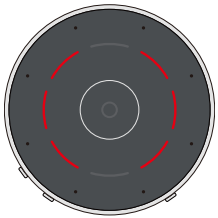
表示ランプについて

動作状態の表示

	**充電中** 緑色の表示ランプは、バッテリーの充電レベルをします。 各表示ランプは約1時間分の充電量を意味します。緑色の点滅は現在の充電レベルを示します。使用中に充電する場合は、バッテリーが完全に充電されると、一時的にすべての表示ランプが緑色に点灯します。
	オレンジ色の表示ランプは、バッテリーの残量が2時間未満であることを意味します。
	赤色の表示ランプは、バッテリー残量が1時間未満であることを意味します。 赤色の点滅は、もうすぐバッテリーが切れることを意味します。

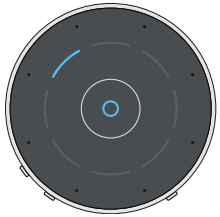
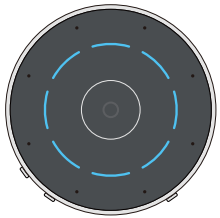
	テーブルマイクを置く向き 本製品の性能を発揮させるには音量＋/－ボタンと電源ボタンをご自分に向けて置いてください。
	**ライン入力** 上部の白色の表示ランプはライン入力接続（TV音声など）を意味します。
	**ライン出力** 下部の白色の表示ランプの点滅はライン出力接続（イヤホン）を意味します。
	音量 ＋ 音量を上げると、上部の白色の表示ランプが点滅します。
	音量 － 音量を下げると、下部の白色の表示ランプが点滅します。

補聴器とのペアリングに関する表示

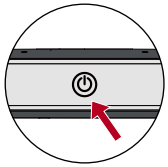
	青色の点滅	補聴器を検索中
	**緑色の点灯**	ペアリングが成功
	**赤色の点灯**	ペアリングに失敗

片耳または両耳の補聴器のペアリングについて詳しくは、13～15ページの「補聴器とのペアリング」を参照してください。

会話をストリーミングしている時の表示

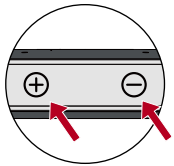
	**オート（追従）モード** オートモード表示ランプ（O）が青色で点灯されます。 青色の表示ランプが特定の話者の方向へ自動的に切り換わります。
	マニュアル（固定）モード シングル / デュアル 1つまたは2つの青色の表示ランプが特定の話者の方向に固定されます。
	**サラウンドモード** すべての表示ランプが青色に点灯し、全方向から音声を拾います。

使用方法



1. 本製品を起動させるには、電源ボタンを押します。
2. 緑色の表示ランプはバッテリーの充電レベルを示します。

3. 補聴器に電源が入っていることを確認します。
   - **注：** ストリーミングを開始する前に、補聴器が本製品とペアリングされている必要があります。
   - 詳しくは、13ページの**補聴器とのペアリング**をご覧ください。
4. 補聴器とペアリング済みの場合、本製品の電源を入れるとストリーミングが開始されます。また、Thriveアプリを開き、[アクセサリ]画面から　[ストリーミング開始]を選択してもストリーミングが開始されます。その他の方法については、20ページの**ストリーミングの開始/停止**を参照してください。



5. ストリーミングの音量を調整するには、+または–ボタンを押します。ストリーミングを停止するには、本製品の電源をオフにします。
6. その他の方法については、20ページの**ストリーミングの開始/停止**を参照してください。

補聴器とのペアリング

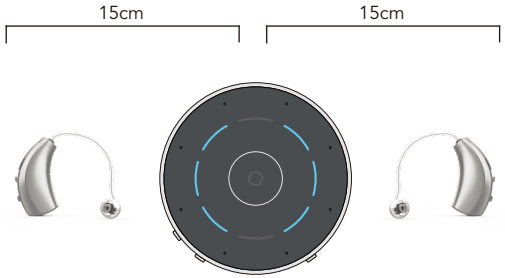
本製品を補聴器と通信させるには、最初に補聴器と本製品をペアリングさせる必要があります。ペアリングの実行は初回のみ、その後は、ワイヤレス通信の範囲内で電源が入っていれば、自動的にお互いを認識するようになります。*

本製品と補聴器のペアリングは以下の通りに行います：

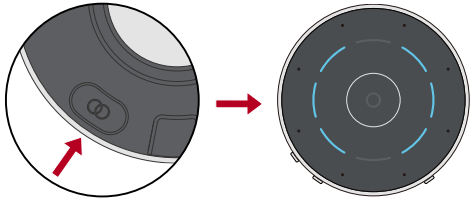
1. 補聴器がお近くのBluetooth機器に接続されていないことを確認します。そのためには、
   - スマートフォンのBluetooth接続を切ります。
   - TVストリーマーやリモコンなど、補聴器とペアリングしているアクセサリー機器の電源を切っておきます。
2. 補聴器の電源を一旦切って、電源を入れ直します。
   - **注：** CROS補聴システムでは、受信側の補聴器とCROS送信機の両方の電源を切ります。そして、補聴器だけ電源を入れ、CROS送信機の電源は切れたままにしておきます。
3. 補聴器を本製品の半径15㎝以内に置きます。

＊通常の通信範囲は、10m以内です。障害物、電波干渉、身体の位置関係など環境的な理由により、操作範囲が限定されることがあります。操作可能な距離の拡大は可能ではありますが、音質や接続性が損なわれる恐れがあります。

4. 補聴器を本製品の左右15㎝以内に置いてください。



5. 本製品の裏面にあるペアリングボタンを長押しして、本製品の表面を上にして置きます。表示ランプがカッコ型に**青**く点滅すると、補聴器とペアリングの準備ができていることを意味します。



6. 補聴器を**両側に装用**している場合：

表示(左)	表示(右)	ペアリング状態	次のステップ
(	)	両方の補聴器 ペアリング完了	必要なし
(	)	左の補聴器のみ ペアリング完了	やり直し 1−5 を繰り返す
(	)	右の補聴器のみ ペアリング完了	やり直し 1−5 を繰り返す
(	)	ペアリング されていません	やり直し 1−5 を繰り返す

7. 補聴器を**片側に装用**している場合：

表示(左)	表示(右)	ペアリング状態	次のステップ
(		左の補聴器 ペアリング完了	必要なし
	)	右の補聴器 ペアリング完了	必要なし
(		左の補聴器がペアリングされていません	やり直し 1−5 を繰り返す
	)	右の補聴器がペアリングされていません	やり直し 1−5 を繰り返す

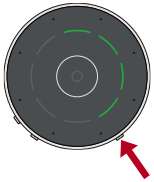
日常使用

電源を入れる

電源ボタンを長押しします。(1秒ほど)

電源を切る

電源スイッチをイ長押しします。**緑**色の表示ランプが電池レベルで表示され、製品の電源が切れます。



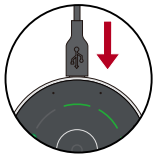
電池残量の低下

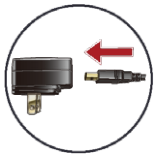
特定の話者の方向を示す表示ランプ(単数または複数)が**赤**色に点灯します。補聴器からビープ音が15分ごとにきこえます。

充電

付属のACアダプターのマイクロUSBケーブルの端子を本製品のマイクロUSBジャックに差し込み、ACアダプターをコンセントに差します。

フル充電で最大12時間のストリーミングが可能です。本製品は約2時間で完全に充電されます。



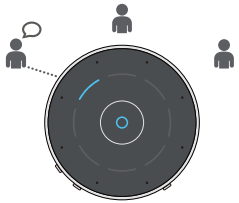


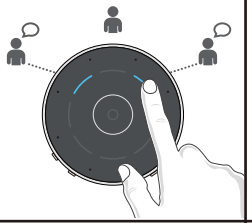
会話ストリーミングの各モードについて

本製品は用途の広い高機能な製品です。本製品は、静かな環境、または騒がしい環境において、会話に最適な音声を提供できるように、会話の中心になる人物の声を自動的に追いかけて拾います。マニュアルモードを使用すると、会話しているグループの中で最大2名に集中できるように、手動でマイクの向きを固定することができます。サラウンドモードは、静かな環境で大人数で話し合う会議などに最適です。

テーブルマイクとして使う

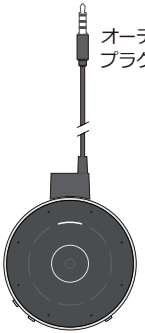
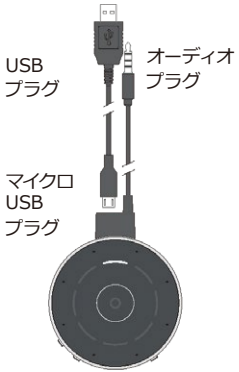
本製品を会話しているグループの卓上の真ん中に置いて使います。最高の音声理解を得るために、本製品をできるだけ会話の相手に近づけてください。

オート(追従)モード 	オートモード表示ランプが点灯すると、本製品は自動的に主要な話者に指向性を合わせます。 オートモード表示ランプが消えている場合は、方向選択タッチキーをタップしてオートモードを有効にします。

マニュアルモード: 1人の話者 	特定の話者に指向性を合わせるには表示ランプをタップします。
マニュアルモード: 2人の話者 	もう1つの表示ランプを長押し(1秒ほど)して、追加したい話者に指向性を合わせます。
サラウンドモード 	静かな環境では、モード切替ボタンをタップしてモードを切り替えることで、複数の人の声を拾うことができます。 モード切替ボタンをもう一度タップするとオートモードに戻ります。

TV オーディオストリーミング (ライン入力)

TVから補聴器に音声をストリーミングするには、

	TVストリーミング用ケーブルを本製品のマイクロUSBジャックに差し込みます。 TVストリーミング用ケーブルの3.5mmオーディオプラグをTVのオーディオ出力ジャックに差し込みます。
	テレビから入力される音声をストリーミングしながら本製品を充電するには、充電ケーブルのマイクロUSBプラグをTVストリーミング用ケーブルのマイクロUSBジャックに差し込みます。 充電ケーブルのUSBプラグをACアダプターに差し込み、ACアダプターを壁のコンセントに差し込みます。

ストリーミングの開始／停止

本製品から音声ストリーミングを開始（または停止）するには、以下の方法があります：

- **本製品の電源を入れる：**
  補聴器へ自動的にストリーミングが開始されます。
- **Thriveアプリ**：
  スマートフォンやタブレットからアプリを開きます。アクセサリー画面からストリーミングの開始／停止を選択します。
- **Thriveリモコン**：
  補聴器販売店のPCで事前に設定した「お気に入り」ボタンを押します。

- **補聴器本体のボタン／スイッチ**：
  補聴器販売店が事前に設定した操作（例えば、ボタンやスイッチの長押しなど）からストリーミングを開始／停止できます。

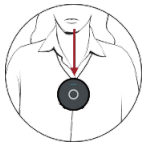
ストリーミングの開始／停止の際、補聴器からお知らせ音が再生されます。

ネックストラップの使用

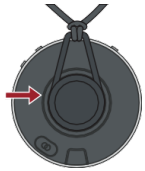
ネックストラップを取り付け、テーブルマイクを首にかけることで、遠隔マイクとして使用することができます。本製品を遠隔マイクとして使用される場合は、本製品が話者の口元から20㎝前後の位置になるように調節してください。

ネックストラップの取り付け方法

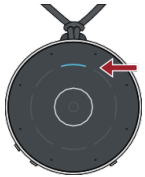
1. ネックストラップの先端にあるマグネット（磁石）を テーブルマイクの背面に取り付けます。背面のくぼみに納まっていることを確認してください（図1）。



2. ストラップを首にかけます。長さを調節するには、首の後ろのスライダーを押さえて、ストッパーを引っ張ります。引っ張り過ぎにご注意ください（図2）。

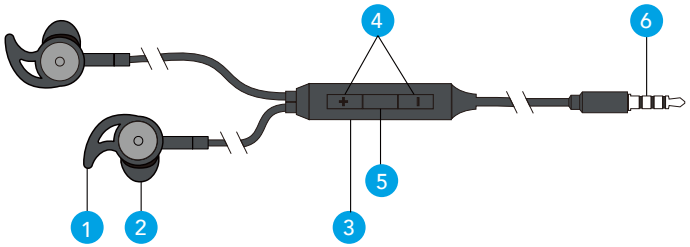


3. 電源が入ると、上部の表示ランプが3秒ほど点灯して消えます（図3）。



ご注意：騒々しい場所で話者の声が聞こえにくい場合は、本製品が正しく位置し、マイクが衣服に覆われていないことをご確認ください。

モニタリング用イヤホン



1. **イヤーフィン（小 / 中 / 大）**
   - 装着者の耳に確実にフィットさせるためのオプション
2. **イヤーチップ（小 / 中 / 大）**
   - 装着者の耳に合わせてサイズを選択します
3. **インライン制御**
   - 主要な機能を簡単に操作できます
4. **音量 ＋/－**
   - 会話のストリーミング音量を調整します
5. **モード切替ボタン**
   - オートモードとサラウンドモードを切り替えます
6. **3.5mm オーディオプラグ**

トラブルシューティング

症状/問題	考えられる原因	解決策
補聴器からストリーミングが突然されなくなった	ワイヤレス通信の範囲ギリギリで操作されている	テーブルマイクを補聴器にもっと近づけてください
	補聴器の電池残量が低下してストリーミングができない	補聴器を充電するか電池を新しいものと交換してください
	家具や壁などの大きめの障害物が信号を妨げているかもしれない	テーブルマイクと補聴器の間に何も遮るものがないようにしてください
	テーブルマイクとのワイヤレス通信が途切れている	「ストリーミングの開始／停止」（20頁）の手順に従って、ストリーミングを再開してください
ストリーミングされるオーディオの音質が歪んでいる	テーブルマイクが低バッテリー状態	テーブルマイクを充電してください
	音源の音量が最適ではない	音質が心地よく感じるまで音源の音量を調節してください
ストリーミングがうるさい、または聞こえない	テーブルマイクから補聴器にストリーミングされる音量が最適ではない	テーブルマイクの＋/－ボタンで音量を調整してください

症状/問題	考えられる原因	解決策
騒々しい環境下で話者の声が聞き取り難い	テーブルマイクの位置が話者から遠すぎるかもしれない	テーブルマイクを話者の口元近くまで移動させてください
補聴器へ音声がストリーミングされない	補聴器がテーブルマイクとペアリングされていない	「補聴器とのペアリング」(13頁)の手順に従って設定してください
	音声信号が入力されていない	•音源に使用されている機器の電源を確認してください •音源に使用されている機器のミュートの解除や音量を上げてください
デバイスが応答していない	エラー状態の可能性	テーブルマイクの電源ボタンを8秒ほど押して強制終了させます 30秒ほど時間をおいてから、再度電源を入れてください

安全性情報

必須情報

電子機器は、お住まいの地域の条例に従って処理する必要があります。

古い電子機器の廃棄手順

Starkey Hearing Technologiesは、お住まいの地域の法律に従って本製品を廃棄することを推奨しています。

以下は、お住まいの地域の廃棄/リサイクル担当者へのアドバイスになります。本製品を廃棄する際、必要に応じてこの取扱説明書を一緒にお渡しください。

廃棄/リサイクルご担当者様

この製品には、リチウムポリマー電池が含まれています。電池を取り外す必要がある場合には、

- 本製品の電源をお切りください。
- ドライバーを使用して本体カバーを取り外してください。
- ショートによる電気事故を防ぐため、回路基板からバッテリーワイヤーを切ってください。
- マイナスドライバーを使用して、本体から電池を取り外してください。

使用目的

本製品は騒音の多い環境下で補聴器装用者の聞き取りを支援する補聴援助機器です。会話中のグループの中から主要な話者を自動認識し、その音声を気導式の2.4GHzワイヤレス補聴器にストリーミングします。またTV等のオーディオ機器からの音声をストリーミングすることもできます。

本製品は、国際的なEMC（電磁両立性）試験の最も厳しい基準に適合するように設計されています。ただし、送電線からの電磁波、空港の金属探知機、他の医療機器からの電磁波、無線信号、静電気放電などによって干渉を受ける可能性があります。

本製品は、中性洗剤を湿らせた布で、綺麗に拭き取ることができるように設計されています。

航空機内での使用

本製品は、航空会社の客室乗務員の許可が下りない場合は使用しないでください。

国外での使用

本製品は､日本での使用は承認されていますが､それ以外の国･地域での使用は承認されてない場合があります。
海外旅行中に本製品を使用すると、他の電子機器と干渉する可能性があることに注意してください。

本製品は以下の温度範囲で設計されています。

- 動作条件：-10～+45℃ (14～113℉)、湿度 10%～95%

警告：本製品が除細動器やペースメーカーといった埋込み型医療機器に干渉する可能性があると懸念される場合は、医師または医療機器メーカーに連絡してください。特に本製品底面およびネックストラップの永久磁石が埋込み型医療機器に接近することは避けてください。本製品をMRI検査室または高圧室では使用しないでください。本製品は炭鉱や特定の化学工場といった爆発性の環境での使用は認められていません。

警告：本製品をクレジットカード等の磁気の影響が懸念される製品に接近させることは避けてください。

警告：本製品を他の電子機器のすぐ近くで使用しないでください。本来の性能を発揮できない可能性があります。やむを得ず使用する場合は、補聴器と電子機器が正しく機能していることを確認してください。

警告：本製品に製造元以外の部品を使用すると、製品の性能の低下につながる可能性があります。

警告：本製品から30cm以内の距離でワイヤレス通信機器を使用している場合､補聴器と本製品のペアリングの性能が低下することがあります。このような場合は、ワイヤレス通信機器を本製品から遠ざけてください。

警告：付属のACアダプターは本製品専用です。他の機器に接続して使用しないでください。

本製品は防塵・防水に対して、正式に国際等級 (IP) は取得していませんが、IEC60529で規定されたIP52レベルの試験は実施されています。これは、本製品が、塵や埃に保護されている、IP52の同等製品であることを意味しています。

本製品には、使用者が自分自身で交換できる部品は含まれていません。本製品を分解や改良することはできませんので、ご注意ください。

本製品を、取扱説明書に記載されていない機器と接続することはお止めください。

本製品の耐用年数は3年以上です。

Wireless Technical Description

The Table Microphone operates in the 2.4-2.4835 GHz band with a maximum effective radiated power of 8 dBm with transmission modulation type of 1M12FXD and 1.1 MHz bandwidth. The receiver section of the radio has a bandwidth of 2 MHz.

FCC/IC Notice

This device complies with part 15 of the FCC rules and with ISED Canada's license-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions:

(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation of the device.

NOTE: The manufacturer is not responsible for any radio or TV interference caused by unauthorized modifications to this equipment. Such modifications could void the user's authority to operate the equipment.
Hereby, Nuance Hearing declares that Starkey Hearing Technologies Table Microphone is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 2014/53/EU. A copy of the Declaration of Conformity can be obtained from info@nuance-hear.com

認証情報

Nuance Hearing

24 Raoul Wallenberg St. Tel Aviv 6971920,
Israel（イスラエル）

Nuance Hearing

Packhorse Lane Bibury Cirencester GL7 5NT
England（英国）

FCC ID : 2AS2V-TM10
IC：24964-TM10

This device produces radio frequency energy. Interference may occur in the vicinity of equipment marked with the following symbol.

Dispose of properly

Consult operations manual

Notes